

たんぽぽ 5月



日差しが強い日も増え、汗をかきながら遊びを楽しむ子ども達。水筒での水分補給にも少しずつ慣れてきています。今後もこまめな水分補給を心掛け、足りなくなったら補充するなど、熱中症に気を付けて過ごしていきたいと思っています。

園庭では虫探しに熱中し、始めは保育教諭に「探して!」とお願いしていましたが、すっかりどこで見つかるかをよく見ていたようで、今では自分で見つけられる子も増えてきました。小さな命とのふれあいを通して、命を大切にすることが育ってほしいと思っています。

また、ツバメの巣の観察も楽しみ、巣に戻ってくるまで待ったり、飛んでいるツバメを目で追ったりしています。生き物達との出会いは新しい発見もいっぱい!子ども達の気付きに共感していきたいと思っています。



ぐりとぐらとの出会い

絵本を楽しむことはたくさんさんの豊かな体験に繋がります。たんぽぽ組になり、より絵本の世界が楽しめるよう、ぐりとぐらの小さな帽子を4月から部屋に装飾の一部として飾っていました。日々、絵本を楽しみ中で「ぐりとぐらの絵本の帽子と一緒に!」と気付き、興味を持つようになった子ども達。さらにファンタジーの世界と繋がるきっかけとして一度帽子を片付け、ぐりとぐらの人形と交換しました。帽子がなくなった時は、「あれ?帽子ない」と部屋の中を探したり、「鳥が持ってた?」と園庭でよく見かける鳥たちが持つて行ってしまったのかも、と想像する姿もありました。翌週帽子の代わりにぐりとぐらの人形が登場したことに気付いた子ども達は「ぐりとぐらおる!」「帽子あった!」と大喜び。そして、さくら組さんが開いている『ぐりとぐらのぼうしやさん』にお出掛けし、ぐりとぐらと同じ帽子をかぶれるようになったことで「帽子おんなじ!」「かぶりたい!」と室内遊びの時にかぶって遊びを楽しむ姿が見られています。

食事中、「ぐりとぐらが見てる!」と思うと、食事が進む子の姿もあり、ぐりとぐらに寄り添ってもらうことで成長する様子を見守っていききたいと思っています。



みんなでクレヨンでお絵描きした紙を葉っぱの形に切り、ぐりとぐらの森にしました



かぼちゃおいしくなあれ!

野菜を自分達で育てて食べる経験をする事で、食への意欲に繋がってほしいという思いから、絵本「ぐりとぐらとすみれちゃん」に出てくるかぼちゃをたんぽぽ組で畑に植えることにしました。「これかぼちゃなん?」と苗を不思議そうに見つめる子ども達。「美味しいかぼちゃになりますように!」とみんなで願い、「おおきくなあれ!おきくなあれ!」とかぼちゃに声援を送っていました。中には「かぼちゃ食べたい」と生長を待ちわびる子も。水やりなどお世話にも挑戦して「自分達で育てるかぼちゃ」により興味がわいてくれるといいなと思っています。

